

令和7年12月19日

令和6年全国家計構造調査

富山県の二人以上の世帯の家計収支に関する結果の概要

総務省統計局より、「令和6年全国家計構造調査 家計収支に関する結果」が公表されました。本県分（二人以上の世帯）の概要は次のとおりです。

今回調査結果の主なポイント

1 二人以上の世帯

1か月平均の消費支出 325,844円で全国第6位

2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯

(1) 収入

・ 1か月平均の実収入 616,174円で全国第4位

・ 1か月平均の可処分所得 515,702円で全国第4位

(2) 1か月平均の消費支出 344,725円で全国第3位

～全国家計構造調査の概要～

1 調査の目的

全国家計構造調査は、家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国的及び地域別に明らかにすることを目的とする基幹統計調査。昭和34年以来5年ごとに実施しており、令和6年調査は通算で14回目に当たる。

2 調査の期間 令和6年10～11月の2か月間

3 調査の対象

(1) 調査市町村 富山県内10市2町

（富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、
小矢部市、南砺市、射水市、上市町、入善町）

(2) 調査世帯

	基本調査	簡易調査	家計調査世帯 特別調査	個人収支 状況調査	計
総数	588	672	96	14	1,370
うち二人以上世帯	490	560	90	14	1,154
うち単身世帯	98	112	6	—	216

※ 家計収支に関する結果については、太枠が集計対象。

4 今後の公表予定

「所得に関する結果」及び「家計資産・負債に関する結果」については、今後順次公表予定。

結果の概要

1 二人以上の世帯の消費支出

(1) 概況

消費支出は 325,844 円で、全国第 6 位

二人以上の世帯の令和 6 年 10～11 月の 1 か月平均（以下、1 か月平均という。）消費支出は 1 世帯当たり 325,844 円で、全国第 6 位となった。前回調査と比較すると、名目 9.3%の増加、実質 1.0%の減少となっている。

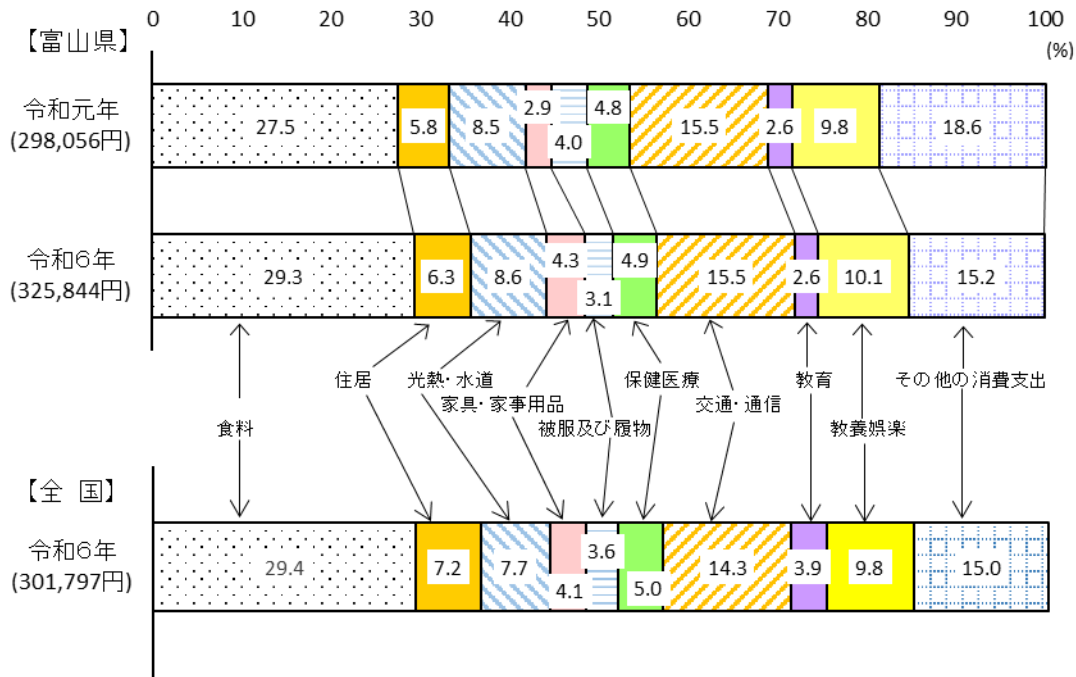
消費支出に占める費目別購入割合をみると、「食料」（29.3%）、「交通・通信」（15.5%）、交際費などの「その他の消費支出」（15.2%）が高くなっている。

また、費目別割合を前回調査と比較すると、「食料」、「住居」、「家具・家事用品」などが上昇している（表 1、図 1）。

表 1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項 目	富 山 県				増減率（％）		全 国
	令和元年	順位	令和 6 年	順位	名目	実質	令和 6 年
世 帯 人 員（人）	3.17	6	3.02	10	—	—	2.90
有 業 人 員（人）	1.72	2	1.57	12	—	—	1.51
世 帯 主 の 年 齢（歳）	60.0	9	60.8	8	—	—	58.8
消 費 支 出（円）	298,056	2	325,844	6	9.3	-1.0	301,797
食 料	81,894	4	95,599	2	16.7	-2.8	88,724
住 居	17,303	20	20,567	15	18.9	4.9	21,671
光 熱 ・ 水 道	25,219	3	28,034	2	11.2	-1.0	23,227
家 具 ・ 家 事 用 品	8,747	42	13,987	7	59.9	27.3	12,339
被 服 及 び 履 物	11,804	10	10,175	17	-13.8	-19.1	10,937
保 健 医 療	14,385	17	15,952	8	10.9	9.2	15,107
交 通 ・ 通 信	46,299	7	50,561	12	9.2	12.0	43,196
教 育	7,643	24	8,534	20	11.7	13.7	11,876
教 養 娯 楽	29,224	8	32,858	5	12.4	1.4	29,545
その他の消費支出※	55,537	4	49,577	11	-10.7	-19.1	45,175
エ ン ゲ ル 係 数（％）	27.5	23	29.3	26	—	—	29.4

図 1 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



(2) 食料への支出

「魚介類」、「野菜・海藻」、「菓子類」への支出金額が全国第1位

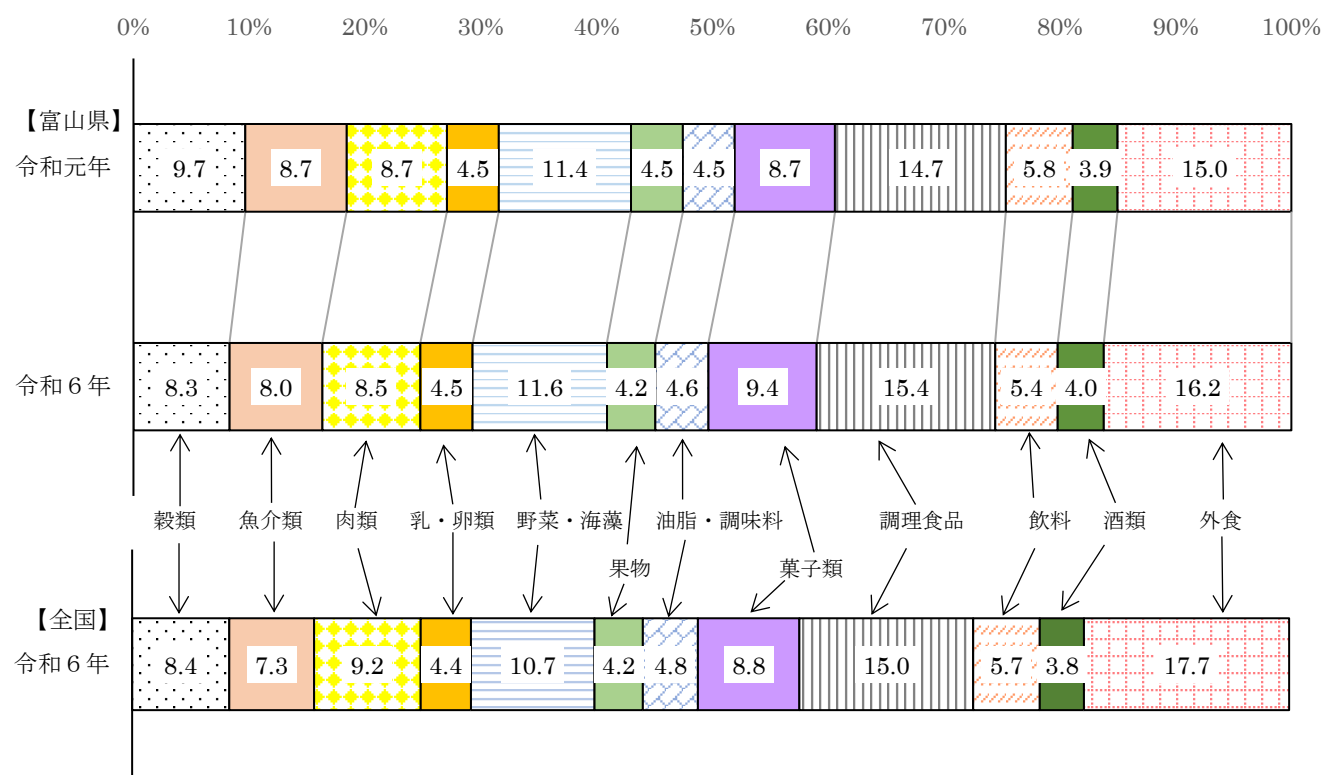
二人以上の世帯の1世帯当たり1か月平均の食料の支出金額が大きい項目（中分類別）を全国と比較すると、「魚介類」、「野菜・海藻」、「菓子類」が第1位、「乳卵類」、「調理食品」が第4位となった（表2）。

また、支出割合でみると、「外食」への支出の割合が全国で17.7%であるのに対し、本県では16.2%と低くなっている（図2）。

表 2 食料の中分類別支出金額（二人以上の世帯） (円)

	富山県				全国
	令和元年	順位	令和6年	順位	令和6年
穀類	7,917	3	7,927	13	7,438
魚介類	7,161	3	7,662	1	6,511
肉類	7,092	29	8,095	25	8,173
乳卵類	3,665	14	4,324	4	3,860
野菜・海藻	9,344	5	11,075	1	9,465
果物	3,686	5	4,014	12	3,714
油脂・調味料	3,661	16	4,367	10	4,222
菓子類	7,093	2	8,950	1	7,789
調理食品	12,078	2	14,725	4	13,321
飲料	4,723	9	5,174	17	5,100
酒類	3,179	15	3,797	14	3,392
外食	12,296	21	15,488	10	15,738

図2 食料の中分類別支出割合（二人以上の世帯）



2 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の収入と支出

(1) 収入

実収入は 616,174 円で全国第 4 位、可処分所得は 515,702 円で全国第 4 位

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は 1 世帯当たり 1 か月平均 616,174 円で、全国第 4 位となった。

実収入に占める収入を種類別にみると、「世帯主の勤め先収入」(333,018 円)は全国平均を下回っているが、「世帯主の配偶者の勤め先収入」(126,584 円)及び「他の世帯員の勤め先収入」(47,943 円)は全国平均を上回っている。

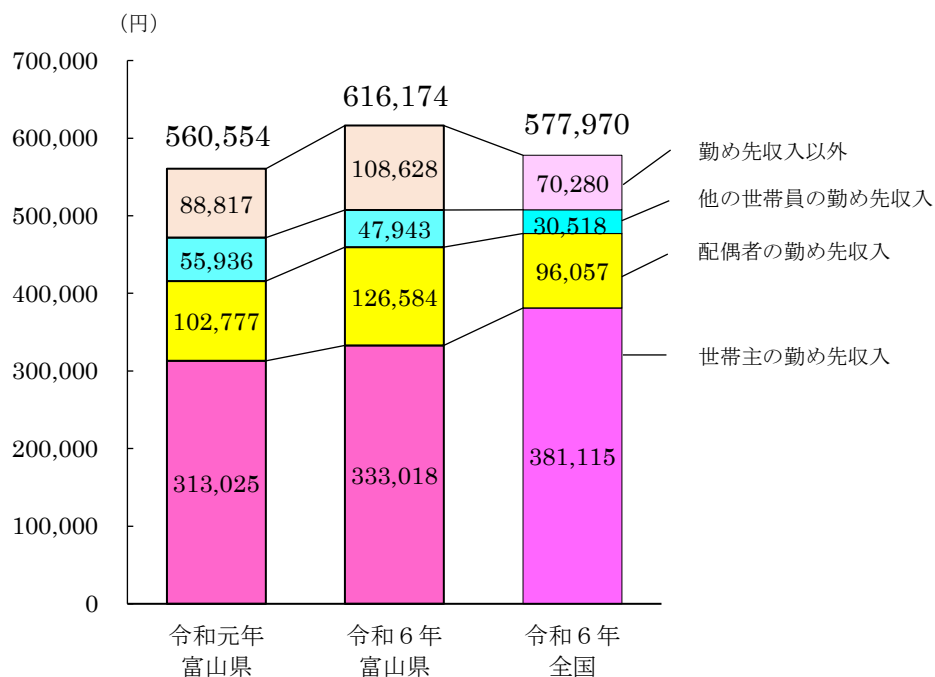
また、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は 515,702 円で、全国第 4 位となった(表 3、図 3)。

表 3 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	富 山 県				増減率 (%)		全 国
	令和元年	順位	令和 6 年	順位	名目	実質	令和 6 年
世 帯 人 員 (人)	3.32	7	3.25	5	—	—	3.09
有 業 人 員 (人)	2.03	1	1.96	5	—	—	1.87
世 帯 主 の 年 齢 (歳)	50.8	2	51.4	4	—	—	49.9
実 収 入 (円)	560,554	7	616,174	4	9.9	-0.5	577,970
勤 め 先 収 入	471,737	11	507,545	12	7.6	-2.5	507,690
世 帯 主 の 勤 め 先 収 入	313,025	34	333,018	35	6.4	-3.6	381,115
世帯主の配偶者の勤め先収入	102,777	2	126,584	1	23.2	11.6	96,057
他の世帯員の勤め先収入	55,936	1	47,943	3	-14.3	-22.4	30,518
勤 め 先 収 入 以 外 ^{※1}	88,817	4	108,628	1	22.3	10.8	70,280
可 処 分 所 得 (円)	468,332	3	515,702	4	10.1	-0.3	478,653
消 費 支 出 (円)	289,241	19	344,725	3	19.2	8.0	315,323
食 料	79,562	4	95,734	3	20.3	0.2	89,028
住 居	12,642	43	19,818	20	56.8	38.3	23,747
光 熱 ・ 水 道	23,515	3	27,428	1	16.6	3.8	22,507
家 具 ・ 家 事 用 品	9,203	34	14,226	7	54.6	23.1	12,520
被 服 及 び 履 物	13,428	5	11,649	13	-13.2	-18.6	11,848
保 健 医 療	12,602	18	11,706	37	-7.1	-8.6	13,791
交 通 ・ 通 信	46,731	28	60,382	6	29.2	32.5	47,512
教 育	10,211	32	14,272	17	39.8	42.4	16,528
教 養 娯 楽	29,544	10	33,315	7	12.8	1.7	30,106
そ の 他 の 消 費 支 出	51,803	20	56,195	6	8.5	-1.7	47,737
非 消 費 支 出 (円)	92,222	16	100,472	8	—	—	99,317
平 均 消 費 性 向 (%)	61.8	41	66.8	19	—	—	65.9
エ ン ゲ ル 係 数 (%)	27.5	8	27.8	29	—	—	28.2

※1 「勤め先収入以外」…「事業・内職収入」、「他の経常収入」、「特別収入」の合計

図3 実収入の内訳（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



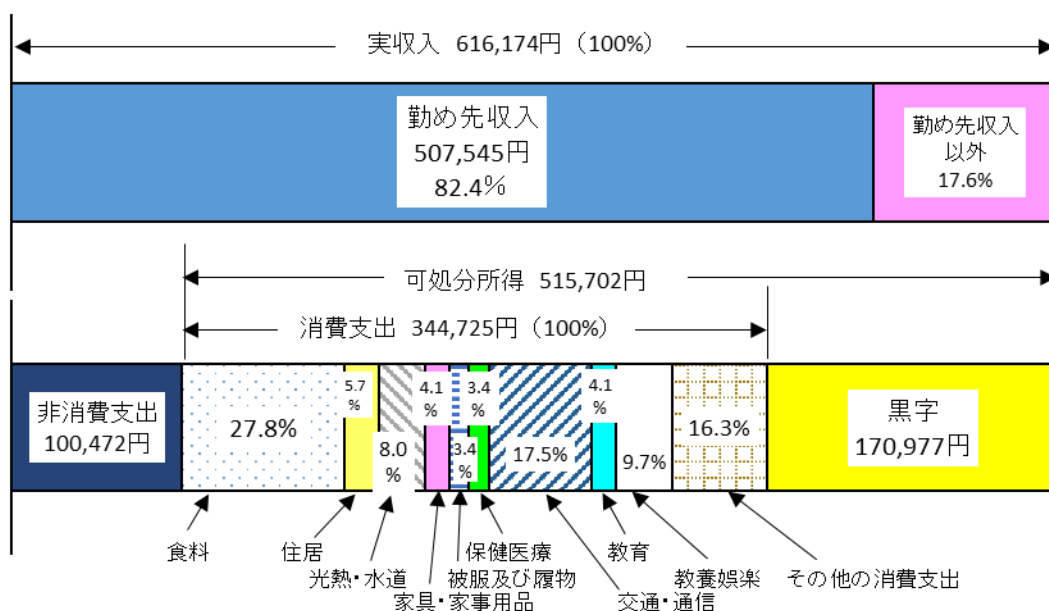
(2) 消費支出

勤労者世帯の消費支出は 344,725 円で、全国第3位

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯当たり1か月平均消費支出は344,725円で、全国第3位となった。前回調査と比較すると、名目で19.2%の増加、実質で8.0%の増加となっている。

消費支出に占める費目別割合をみると、「食料」(27.8%)、交際費などの「その他の消費支出」(16.3%)、「交通・通信」(17.5%)が高くなっている(表3、図4)。

図4 家計収支の構成（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



用語の解説

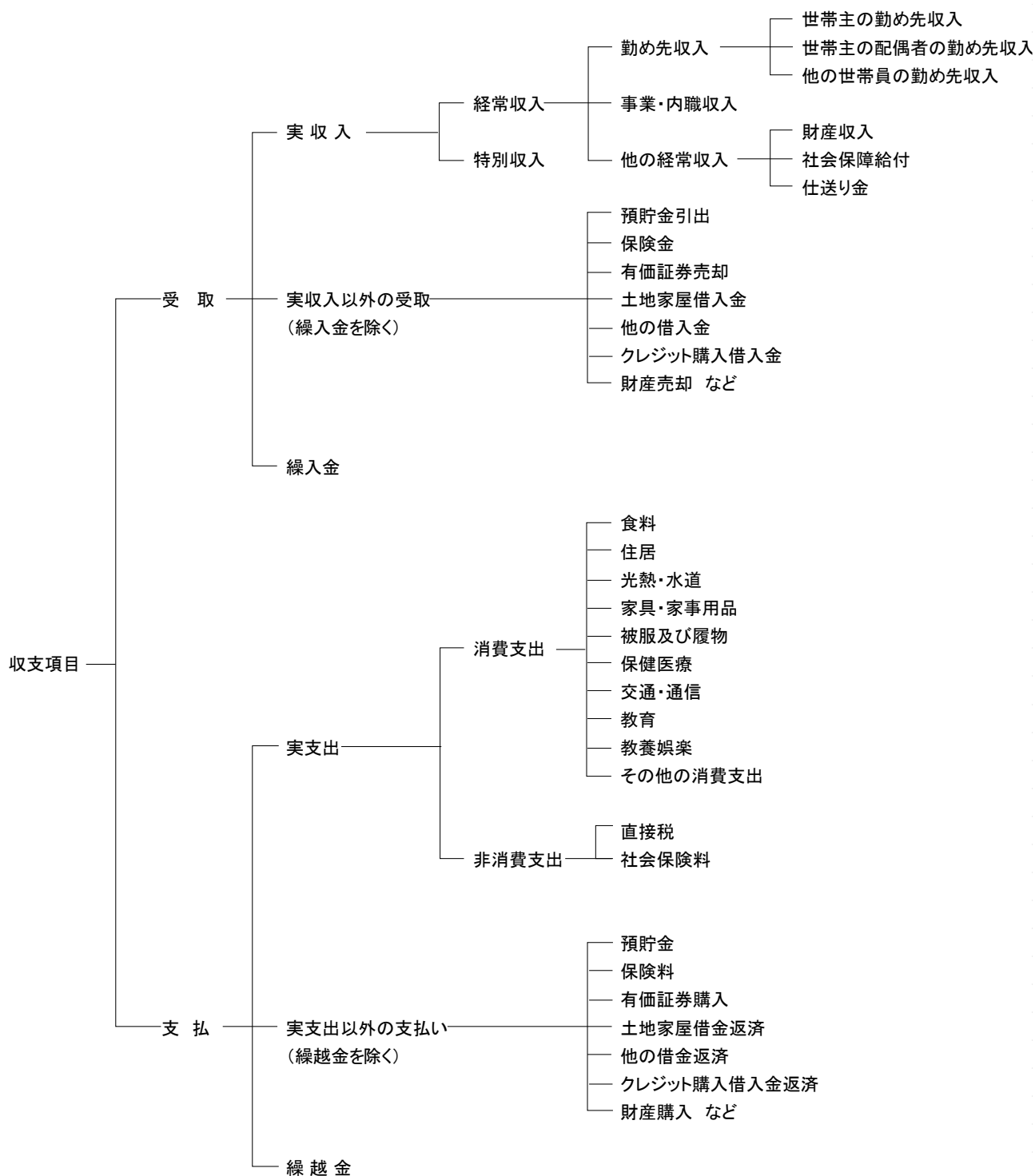
1. 世帯の区分

勤労者世帯	世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに勤めている世帯
無職世帯	世帯主が無職の世帯
その他の世帯	勤労者世帯及び無職世帯以外の世帯（世帯主が社長、取締役、会社団体の役員などである世帯を含む）

2. 用語の説明

実収入	世帯員全員の現金収入（税込み）を合計したもので、経常収入（勤め先収入、事業・内職収入、他の経常収入）と特別収入からなる。
可処分所得	実収入から税金、社会保険料などの非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。 可処分所得＝実収入－非消費支出
消費支出	いわゆる生活費のことで、内容を大きく分けると、食料、住居、光熱・水道、家具・家事用品、被服及び履物、保健医療、交通・通信、教育、教養娯楽、その他の消費支出の10項目からなる。
非消費支出	税金、社会保険料などのこと。
平均消費性向	可処分所得に対する消費支出の割合。 $\text{平均消費性向} = \frac{\text{消費支出}}{\text{可処分所得}} \times 100$
エンゲル係数	$\text{エンゲル係数} = \frac{\text{食料}}{\text{消費支出}} \times 100$
名目増減率	1世帯当たりの収入（勤労者世帯のみ）及び支出金額の増減率。
実質増減率	物価水準の変動の影響を除去した増減率。 $\text{実質増減率} = ((100 + \text{名目増減率}) \div (100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}) - 1) \times 100$

3 収支項目分類体系図



※ 本資料上の図表について、金額及び構成比は表示単位に四捨五入してあるので、内訳の計は必ずしも合計に一致しない。

◆この概要は、総務省統計局「令和6年全国家計構造調査結果」より作成しています。

◆「令和6年全国家計構造調査結果」の結果は、以下の URL でもご覧になれます。

・富山県ホームページ 「とやま統計ワールド」

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/lib/zenkokukakei/index.html>

・総務省統計局 ホームページ

<https://www.stat.go.jp/data/zenkokukakei/2024/index.html>